

令和3年度第1回八潮市総合教育会議 議 事 録

開催日時	令和3年10月19日(火) 午後1時50分から午後2時37分まで	開催場所	八條公民館 大ホール
出席者 (敬称略)	(市長) 大山 忍 (教育長) 井上 正人 (教育長職務代理者) 加藤 正道 (教育委員) 木下 史江 (教育委員) 高橋 洋一 (教育委員) 田口 理恵		
欠席者 (敬称略)	なし	傍聴者数	3人
審議内容及び 審議結果の 概要	令和3年度第1回八潮市総合教育会議 1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 八潮市教育大綱と八潮市教育計画の一本化について (2) 八潮市学校給食ビジョンの策定について 4 閉会		
提供資料	令和3年度第1回八潮市総合教育会議 次第 資料1 八潮市教育大綱と八潮市教育計画の一本化について 資料2 第2期八潮市教育計画「はばたき」素案 資料3 八潮市学校給食ビジョンの策定について		
事務局	企画財政部長 前田 秀明 企画財政部副部長兼秘書広報課長 菊池 俊充 企画財政部政策担当主幹 篠原 啓佑 企画財政部企画経営課長 井上 淳子 企画財政部企画経営課企画経営担当主任 鈴木 陵平	学校教育部長 山本 誠 学校教育部副部長 田口 周一 学校教育部学務課長 山内 修 教育総務部副部長兼教育総務課長 千葉 靖志 教育総務部教育総務課庶務係長 関根 郁也	

1 開会

2 あいさつ
(市長あいさつ)

3 議事

(1) 八潮市教育大綱と八潮市教育計画の一本化について

発言者	発言内容
事務局	<p>第2期八潮市教育計画「はばたき」の策定にあたり、教育計画を教育大綱に代え、一本化する。</p> <p>資料1：八潮市教育大綱と八潮市教育計画の一本化について</p> <p>「1 法律上の位置づけ」 教育大綱は地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、地方公共団体の長を策定主体とし、策定は義務となっているが、教育振興基本計画は教育基本法に基づき、地方公共団体が策定するもので、策定は努力義務である。本市の教育計画「はばたき」がこれに当たる。</p> <p>「2 八潮市教育大綱と八潮市教育計画」 現行の教育大綱は、「基本理念、基本方針、基本目標、主な取り組み」という構成になっている。 一方、第1期教育計画は大綱から、基本理念、基本方針を引用し、さらに基本目標も教育大綱と一致しており、それに基づいて各種施策が記載されている。 現状では、教育大綱と教育計画は重なっている部分が多く、教育大綱と教育計画の連動性をより高めること、より市民に分かりやすいものとするため、第2期教育計画を機に、一本化していきたい。</p> <p>「3 一本化の根拠」 平成26年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成27年度から地方公共団体において、教育大綱を策定することが義務づけられた。 平成26年7月に教育大綱策定にあたり、文部科学省通知で「教育振興基本計画その他の計画を定めている場合には、その中の目標や施策の根本となる方針の部分が大綱に位置付けることができると考えられる</p>

発言者	発言内容
事務局	<p>ことから、地方公共団体の長が、総合教育会議において、教育委員会と協議、調整し、教育振興基本計画をもって大綱に代えることと判断した場合は、別途大綱を策定する必要はない」とあり、この通知を根拠に大綱と計画を一本化し、教育計画をもって、教育大綱としていきたい。</p> <p>資料２：第２期八潮市教育計画「はばたき」素案 資料１で説明した、教育計画へ教育大綱を一本化した具体的なイメージである。</p> <p> P 1 「I 計画の基本理念、基本方針」 第１期教育計画では、教育大綱の基本理念、基本方針を冒頭にそのまま掲載したが、第２期では、「I. 計画の基本理念、基本方針」として、「平成 27 年度に策定した八潮市教育大綱の基本理念、基本方針を本計画の基本理念、基本方針として引き継ぎ、本計画をもって大綱に代えることとします。」と明確に記載をした。</p>
司会	<p>教育計画へ教育大綱を一本化することについて、何か意見・質問はあるか。</p>
委員	<p>教育の柱が幾つかあるよりも一つにまとめた方が市民に分かりやすくなる。</p>
委員	<p>市長と教育長の考えが一致していれば一本化してよいのではないかと考える。</p>
委員	<p>一本化について異論はない。 また、計画期間が４年間とあるが何か期間の決まりがあるのか。</p>
事務局	<p>文部科学省の通知に教育大綱の期間については、首長の任期が４年であることや、国の教育振興基本計画の計画期間が５年であることを踏まえ、４～５年が適当とあることから、本市の教育大綱は市長任期に合わせて４年としており、計画期間も大綱に合わせ４年とした。</p>
委員	<p>市長部局で教育大綱、教育部局で教育計画と別々に計画があるよりも一本化した方が分かりやすくて良いと考える。</p>
委員	<p>一本化することによって第２期教育計画の内容は、全て教育委員会で検討していくのか。</p>
事務局	<p>市長部局も含めた検討委員会があり、その中で全庁的に検討を行っている。</p>
司会	<p>教育計画と教育大綱を一本化するということが今後進めてよいか。</p>
全委員	<p>承認</p>

3 議事

(2) 八潮市学校給食ビジョンの策定について

発言者	発言内容
司会	<p>続いて、八潮市学校給食ビジョンの策定について事務局から説明を求める。</p>
事務局	<p>資料3：八潮市学校給食ビジョンの策定について</p> <p>「1 学校給食を取り巻く環境」</p> <p>学校給食は、学校給食法に基づき、児童・生徒の心身の健全な発達に資するために、必要な栄養を摂取するとともに、学校給食法に基づく目標を達成するために、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う学校教育の一環とし大切な役割を担っている。</p> <p>八潮市の学校給食は、本市栄養士が献立を作成し、民間業者によって給食を調理し、1日約7,000食の学校給食を実施している状況である。</p> <p>「2 学校給食ビジョンの策定の考え方」</p> <p>本市では、令和2年6月26日、給食加工業者の食材の調理工程のミスにより、食中毒事故が発生し、3,453人の児童生徒・教職員が健康被害を受けた。</p> <p>市教育委員会では、学校給食の事故を受け、二度とこのような事態が起こらないよう、有識者及び学校関係者等で構成する「八潮市学校給食審議会」を立上げ、学校給食のあり方について11月4日に答申を受けた。答申では、学校給食法に則った学校給食の実施、食育と衛生管理が十分に行える栄養教諭と学校栄養職員を配置できる体制の構築、そのための公設公営若しくは公設民営による方式への移行などが含まれた内容であった。</p> <p>これら答申を踏まえ、将来にわたり想定される市を取り巻く情勢や少子化などの社会状況等、学校給食法を包括的に捉え、安全安心で持続可能な学校給食のあり方について総合的に整理し、専門家の助言のもと八潮市の学校給食の将来構想として「八潮市学校給食ビジョン」を策定したいと考えている。</p> <p>「3 学校給食ビジョンの位置づけと内容」</p> <p>本ビジョンは、将来の八潮市学校給食のあるべき姿を位置づけ、今後の学校給食提供体制の指標としたい。</p> <p>現時点で予定しているビジョンの内容は、「学校給食の現状と課題・八潮市学校給食基本方針・学校給食提供方式の検討・学校給食提供方式の</p>

発言者	発言内容
事務局	<p>方向性」などを予定している。策定に当たっては、専門知識を有する事業者による策定支援を予定している。</p> <p>「4 今後の予定」</p> <p>本日の総合教育会議を経て、12月議会においてビジョンの策定支援業務委託の契約に向けた手続きを行う。具体的には、学校給食ビジョン策定支援業務委託費及び専門家への報酬などの補正予算案の上程を予定している。なお、専門家については、現在検討中ではあるが専門知識を有する大学教授などを想定している。</p> <p>来年2月からはビジョンの策定に向けた支援業務を開始し、3月には来年度予算案を上程する。</p> <p>策定作業を進め、7月頃を目途に中間報告を行い、令和5年2月にビジョンをまとめ、3月にパブリックコメントの実施を予定している。その後、令和5年5月頃の教育委員会へ諮り、策定を行う。</p> <p>現時点での内容となるが、このようなスケジュールで進めていくことを予定している。ただ、できるだけ早く策定をしたいと考えており、策定期間が早くなるよう努めていくが、本ビジョンは本市にとって大変重要な位置付けとなるため、慎重に行っていく。</p>
司会	事務局より学校給食ビジョンの策定について説明があったが、何か意見・質問はあるか。
委員	<p>できるだけ早めの策定をお願いしたい。</p> <p>事故が発生し、現在は再開しているが事故発生前と変わった点などはあるのか。</p>
事務局	<p>正規職員の栄養士を1名と、会計年度任用職員の栄養士を1名新たに採用した。衛生管理の面については、栄養士と事務方職員で調理場に週2回立ち入り、衛生面等の監視を行っている。</p> <p>また、栄養士が増えたことにより、学校において食育指導を行ったり、外部機関による衛生検査を学期ごとに1回実施している。</p>
委員	<p>学校給食審議会の答申から1年が経とうとしており、世間からは何も変わっていないのではないかと声を聞くため、できるだけ早期のビジョン策定をお願いしたい。</p> <p>また、現在も子どもたちへ給食の提供が行われているため、まずは現状の給食提供体制の下、衛生管理の徹底を行い、継続した安全な給食の提供を引き続き行ってほしい。</p> <p>そして、その上で今後の給食の提供方式について教育的な視点を第一に、短期・中期・長期的な視点で持続可能な学校給食の提供体制を構築</p>

発言者	発言内容
委員	<p>することが必要であるため、子供たちのためにも市長部局も含めて気持ちを一つにしてビジョンの策定を進めていくべきと考える。</p>
委員	<p>同意見だ。現在の子どもたちへ安全安心な給食の提供を行うことが、保護者の一番望んでいることである。そのために、教育委員会として日々全力で取り組んでおり、これが短期的な取り組みと言える。</p> <p>これを行いつつ、答申にある自校式やセンター方式といった給食提供方式について公平な視点で多角的に検討を行い、子どもたち第一の視点でビジョンの策定をしなければならないと考える。</p> <p>時間はかけられないが、慎重な検討が求められることから、教育委員会だけでなく、市長部局からの意見を踏まえ進める必要がある。</p>
委員	<p>先ほどの教育計画「はばたき」にあった基本理念で、「明日の八潮を担う人づくり」とある。将来の八潮を担っていく子どもたちのためにも、ビジョンの策定が必要である。</p> <p>半数以上の子どもたちが被害を受けており、現在も不安は残っていると思う。また、コロナ禍で子どもたちは黙食を強いられており、安心して楽しく食べられる環境になってほしい。</p> <p>衛生上、揚げ物も一旦冷やすこととなっているが、公設の調理施設であれば温かい給食の提供が可能になったり、アレルギーを持つ子どもに対するきめ細かな対応が可能になるのであれば、より良い給食となると思う。</p> <p>様々な意見があると思っており、それらの意見を踏まえながらビジョンの策定を進めていく必要があると考える。</p>
大山市長	<p>先ほど、委員から短期的・中期的・長期的な視点に立って検討する旨の話があったが、同意見である。</p> <p>学校給食法に則った学校給食の提供体制の構築として、現在は一事業者に委託しているが、短期的な課題として、衛生管理・栄養管理・提供体制・学校教育の一環としての「食育」の提供があり、これらを堅持していく必要がある。</p> <p>また、今後の中・長期的な視点に立った中で、児童生徒数の偏在が始まることが予想される。駅周辺の南部地域においては、児童生徒が今後急速に増加することが予想されており、場合によっては学校内に校舎を増設したり、新設校の建設も検討しなければならない。</p> <p>一方、北部地域では小規模特認校制度を設けており、今後の学校適正配置計画の内容によっては、複式学級になった場合は統廃合するという議論もある。同じ市内でも一方は新設校、一方では統廃合といった問題を抱えている。</p>

発言者	発言内容
大山市長	<p>そうしたことも踏まえた中・長期的な視点を持って考える必要があると考えている。特に新設校を建設する場合の考え方についても本ビジョンの中に盛り込んでおく必要がある。提供体制がバラバラになることにより公平に見たときに適正かどうかという話になってくるため、どのように考えているかを聞きたい。</p>
事務局	<p>資料3「3 学校給食ビジョンの位置づけと内容」において、ビジョンの内容として、学校給食提供方式の方向性について記載があるが、この中に新設校についての考え方も盛り込むことを予定している。</p> <p>また、「4 今後の予定」において令和4年7月頃に中間報告をしようとしているが、学校給食提供方式の方向性についてこの中間報告で一定の方向性を示したいと考えており、スピード感を持って行いたい。</p>
大山市長	<p>確認だが、中間報告において新設校も含めた学校給食提供方式の基本的な方向性が示されるという理解で良いか。</p>
事務局	<p>自校式、センター方式、現在の委託を比較検討しながら、中間報告で方向性を示していきたいと考えている。</p>
井上教育長	<p>全体の提供方式が決まれば、おのずと新設校の方向性も出てくると考えている。</p> <p>また、一番考えなければいけないことは、八潮の子どもたちのことであり、それを念頭に置いてビジョンの策定を進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>進めるに当たり、保護者や市民の注目は高く、スピード感を持って行うことが必要と考える。</p> <p>教育委員会では、担当者が衛生管理やモニタリングなど非常に多くの仕事をこなしている状況である。そのような状況を理解しているため、ビジョンの策定について人的な部分で懸念している。策定し、ビジョンの推進のためにも、専門的に取り組める人材を増やすことを要望したい。</p>
委員	<p>改めて学校給食に取り組む部署の設置をすることが良いと考える。対外的にもアピールでき、ビジョン推進にも効果的と考えるため、財政的な面もあるかと思うが検討をお願いしたい。</p>

4 閉会
(市長・教育長あいさつ)

以上